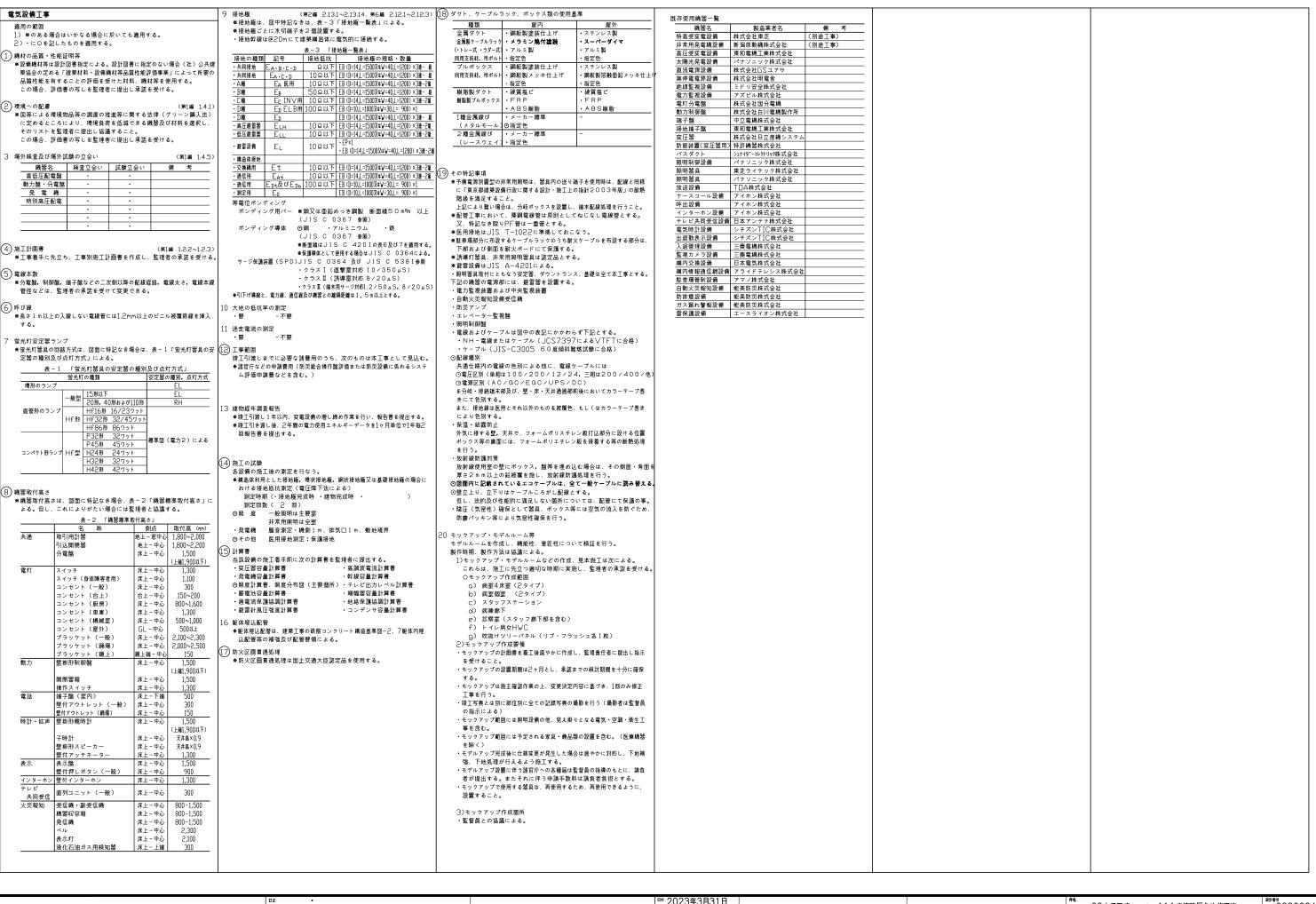
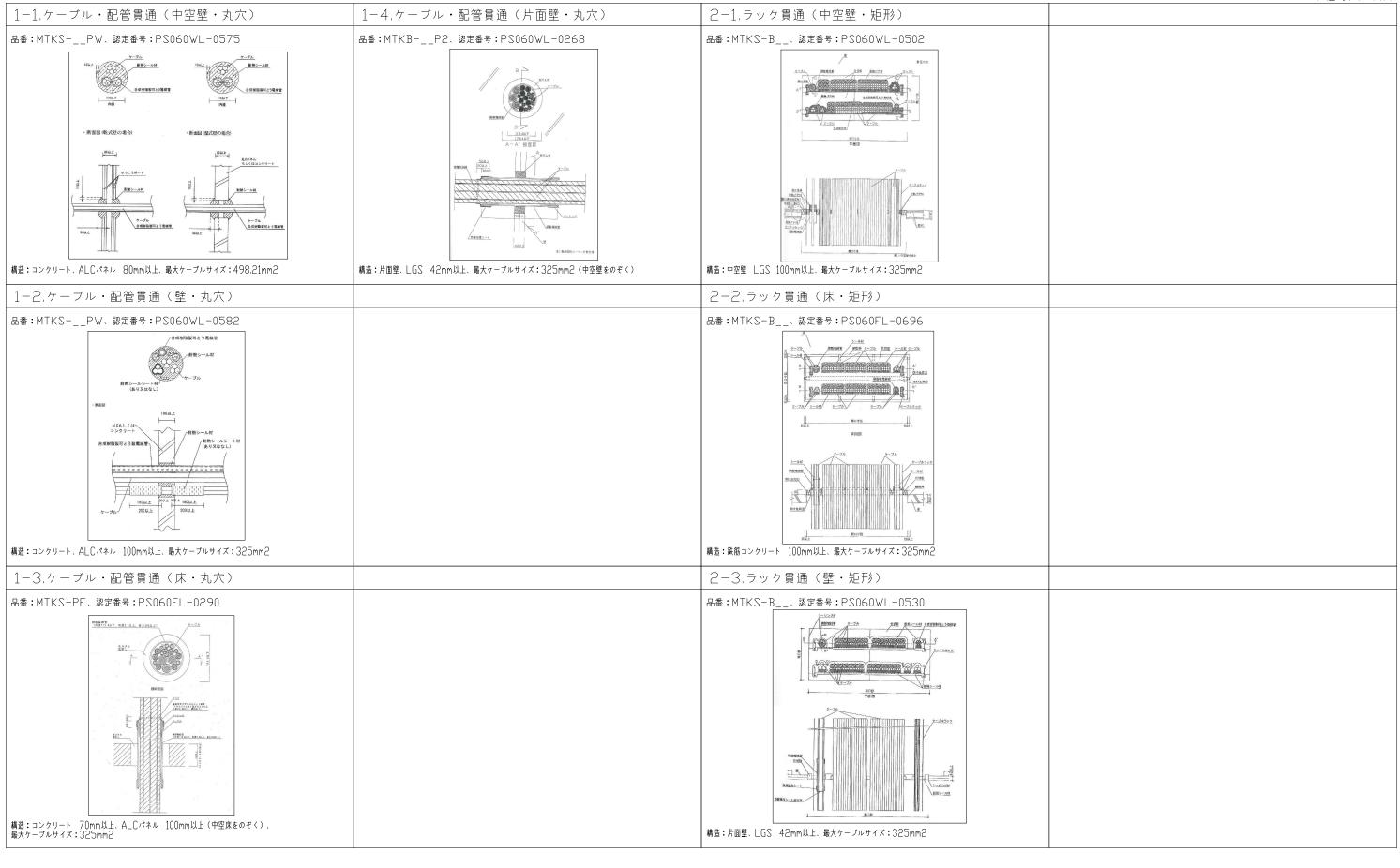
## 電気設備工事特記仕様書 工事概要 26 アスベスト事前 12 金属電線管の 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗 全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事 23小児医療センター11A病体陰圧化改修工事 7 発雷設備 ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 調査結果の報告 塗装 前燗査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あて ガスタービン発電装置・ マイクロガスタービン発電装置 1.2 工事場所 埼玉県さいたま市中央区新都心1番2 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 日 から 令和 7年 1月 31日 まで 燃料雷池発電装置 熱併給(コージェネレーション)発電装置 約 1.3 工 期 ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。 27 雷気保安技術者 (a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くも 太陽光発電装置 風力発電装置 13 鍵 盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。 のとする。 (b)電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経 1.4 工事科目(〇印の付いたものを適用する) 1.4 地中雷線路 (1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記 局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。 8 構内交換設備 験を証明する資料を監督員に提出して承諾を受ける。 ① 電灯設備 動力設備 テレビ共同受信設備 (1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の (1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 9 自動火災報知設備 テレビ雷波障害防除設備 西質ビニル電線管 (VE) 工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理 (2)総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 ・ 監視カメラ設備 電熱設備 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 技士又はこれと同等の知識及び経験を有する者。 設備 拡声設備 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえ 雪保護設備 駐車場管制設備 良質土 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種 波付硬質合成樹脂管 (FEP) 防犯、入退室管理設備 ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) 受変電設備 雷気丁事士の資格を有する者. 雷力貯蔵設備 自動火災報知設備 (c)電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。 (2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低 特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標 10 昇降機設備 発電設備 自動閉鎖設備 (d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。 圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 進什様書(機械設備工事編)による。 構内情報通信網設備 ガス漏れ火災警報設備 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では (e) 電気主任技術者を別途配置している電気工作物に係る工事においては、 構内交換設備 電気時計設備 路盤材下面)から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への 電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。 中央監視制御設備 引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。 (a)受注者は、工事用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有 映像、音響設備 医療関係設備 28 丁事用雷力設備 2.4 取付高さ 拡声設備(非常放送設備)誘導支援、呼出し設備 昇降機設備 資格者を定め 監督員に報告する. 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。 15 回路の種別 ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ク (b) 保安責任者は、前項25の電気保安技術者が兼任できる。 行先の表示 - ブルには、回路の種別、行先の表示を行う (c)保安責任者は、適切な保安業務を行う。 測 占 (1)施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成 16 電線の接続 湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープ 29 その他 床上~中心 1,300 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合) を巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 // (身体障害者用) 1,100 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製 1 専任期間の始期 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよ " (人感センサー切換用) コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット 2.000 請負契約締結の日から、(①現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入 い。ただし、接続はボックス内とする。 400 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に 又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・令和 年 月 日までの期間)については、 200 150 17 雷線管の接続 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚細雷線管の接続は、防水処置を施 提出し、承諾後施工する。 主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 150 台上~中心 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は 2 専任期間の終期 防水型コンセント 分電盤、制御盤、開閉器和 床上~中心 受注者の負担とする。 上端1,900以下)1,500 (上端1,900以下)1,500 工事完成後、検査が終了し、(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブル 呼出ボタン(身体障害者用 復帰ボタン( 〃 18 接地工事 漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共 後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 とし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑/黄又は緑/色帯で (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、 行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定 (上端1,900以下)1,500 工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 を行い、試験記録を提出する。 19 建設発生土の 埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを 病院棟 RCSS造、免疫構造、地上13階建て(地下1階、PH1階) ・構外搬出適切処理する。 3 その他 病院模 RCSS造、免設構造、地上13階建て(地下1階、PH1階) 建築面積:8,111.13 ㎡ 延庆面積:6,5411.32㎡ 3.1 他工事との取合区分 2 0 再生砂·再生 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者 発注図又は工事区分表による。 に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注 得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 アスコン \_\_\_\_\_\_ 3.2 図面上の縮尺 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌 1.8 工事概要 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。 (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として 1) 11A病棟における原圧化レイアウト変更に伴う電気設備改修。 2)対象工事は上段工事科目の記載の通りとし、詳細は図面参照による。 学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、 設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行 2.1 耐震施工 打合せして設定すること。 監督員と協議するものとする. 1.9 同時期発注の関連工事・建築工事・機械設備工事 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対してエ なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものと 事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し 2 工事仕様 (1)設計用水平地震力 周知する。 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。 (1)この工事は特記仕様書。図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。 という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 2.3 工事別一般事項(特記事項選択項目は、〇印のついたものを適用する) (以下「標準仕様書等」という。) 及び監督員の指示に従い施工する。 設計用標準水平震度 機器種別 特定の施設 一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 機器 2.0 1.5 1.5 1.0 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 水 槽類(※1) 2.0 1.5 1.5 1.0 機器 2.1 1.5 1.0 1.0 0.6 記 事 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。 1 電灯設備 (2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2 ロコンセン (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。 トは複式を使用してもよい。 屋上及び塔屋 2.2 特記仕様(特記事項の選択項目は、〇印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 機 器 1.5 1.0 1.0 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 0. 6 1. 0 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュブレートついては、樹脂 プレートを使用することができる。 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。) 項 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 機材等 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のもの (2)照明器具 とする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提 地下・1階 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘 出し承諾を受けるものとする。 導灯とし、関係法令に適合したものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む 【備 考】(※1):水槽類には、オイルタンク等を含む。 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修 機材等は使用しないこと。 重要機器 版材寺は阪州しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品 に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項 目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項 ・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校において ·交換機 ·火災報知器受信機 ·中央監視装置 ·太陽光発電装置 は学校環境衛生基準により実施すること。 上層階の定義は次による。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 施工時間 2 施工条件 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、涂りしろカバーと仕上り面とが ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 10mm程度以上離れる場合は継枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボ ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継枠を必 3 工事用電力・水 本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。 22 あと施エアンカ・ 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督 要としない。 員の承諾を受けるものとする。 (6) 位置ボックスの省略 4 工事用仮設物 すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器 アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施エアンカー協会の資格を有するもの、又 具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い ※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 5 足場・さんばし類 本工事とする。 (1)動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷 は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 2 動力設備 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録 用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2)電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別 6 監督員事務所 本工事で ・設ける (規模 ) ※設けない 受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを 7 保 険 途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。 火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出す ル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 3 雷保護設備 受雷部突針は LR1とする。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) 4 受変電設備 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に 高 圧 引 込 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。 あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施する 再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その 取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを 3 再使用機材 端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打 23 はつり及びあと 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 施エアンカー打設 設前に、図面に明示する筒所についてX線撮影調査を実施すること。 (端末処理 ・耐塩用 一般用 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 建設リサイクル 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具 ※ 適用する(契約金額による) ・ 適用しない 柱上用高圧気中 の電源を遮断する装置を使用する。 定格電圧 7.2kV 定格電流 負荷開閉器 (PAS) 完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・適用しない 10 完成図書の 本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 定格雷圧 2.4 改修部分の足場 主 遮 断 装 置 kV 定格遮断雷流 kA 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載する (1) 内部足場 ※ 脚立足場 動力用 台 こと。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は (2)外部足場 ※ A種(枠組足場)・B種・C種・D種・E種・F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」につい kVA× 台 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。 て」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行丁法等 に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関 官公庁等打ち合わせ機関 高圧進相コンデンサ kVar× 台 11 発生材処理 引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 直列リアクトル ・6% ・13% (構外搬出処理費は、※本工事・別途) する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により kVar× 台 (1) 引渡しを要するもの ( (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑 構内情報通信 施設管理者 ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。 (3) 再生資源化を図るもの(蛍光管 2.5 墜落制止用器具 ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン 電話会社 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 雷力貯蔵設備 ・ 直流電源装置・ 交流無停電電源装置 ケーブルテレビ会社 消防本部 : (4)特別管理産業廢棄物 (フルハーネス型 (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による ・使用を要しない ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。 2023.4 本部長 管理幹 主 幹 主 査 担 当 工事名称 図面番号 設計年月日 縮尺 地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 EA-01 23小児医療センター11A病棟陰圧化改修工事 電気設備工事特記仕様書(1) \* 部

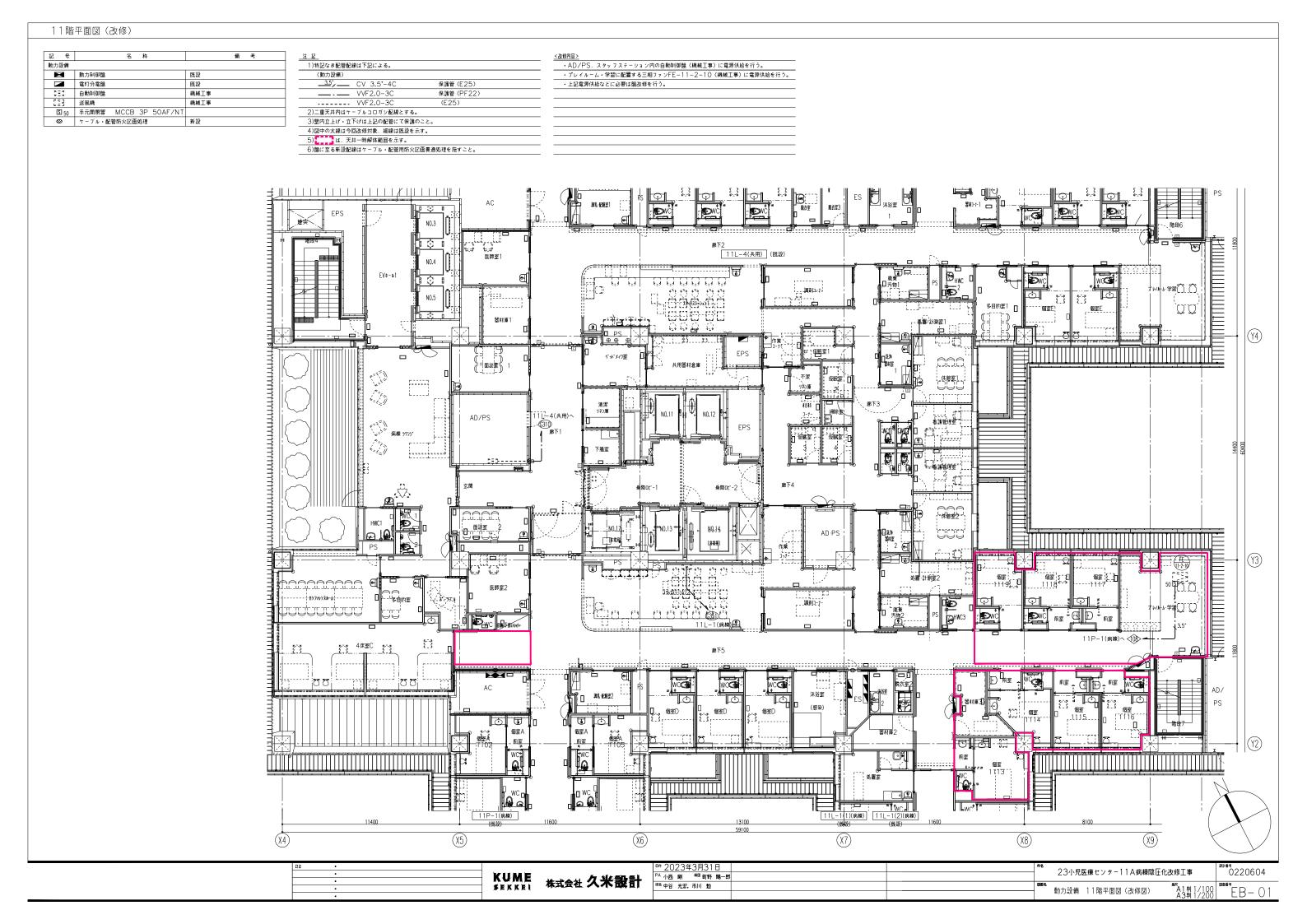


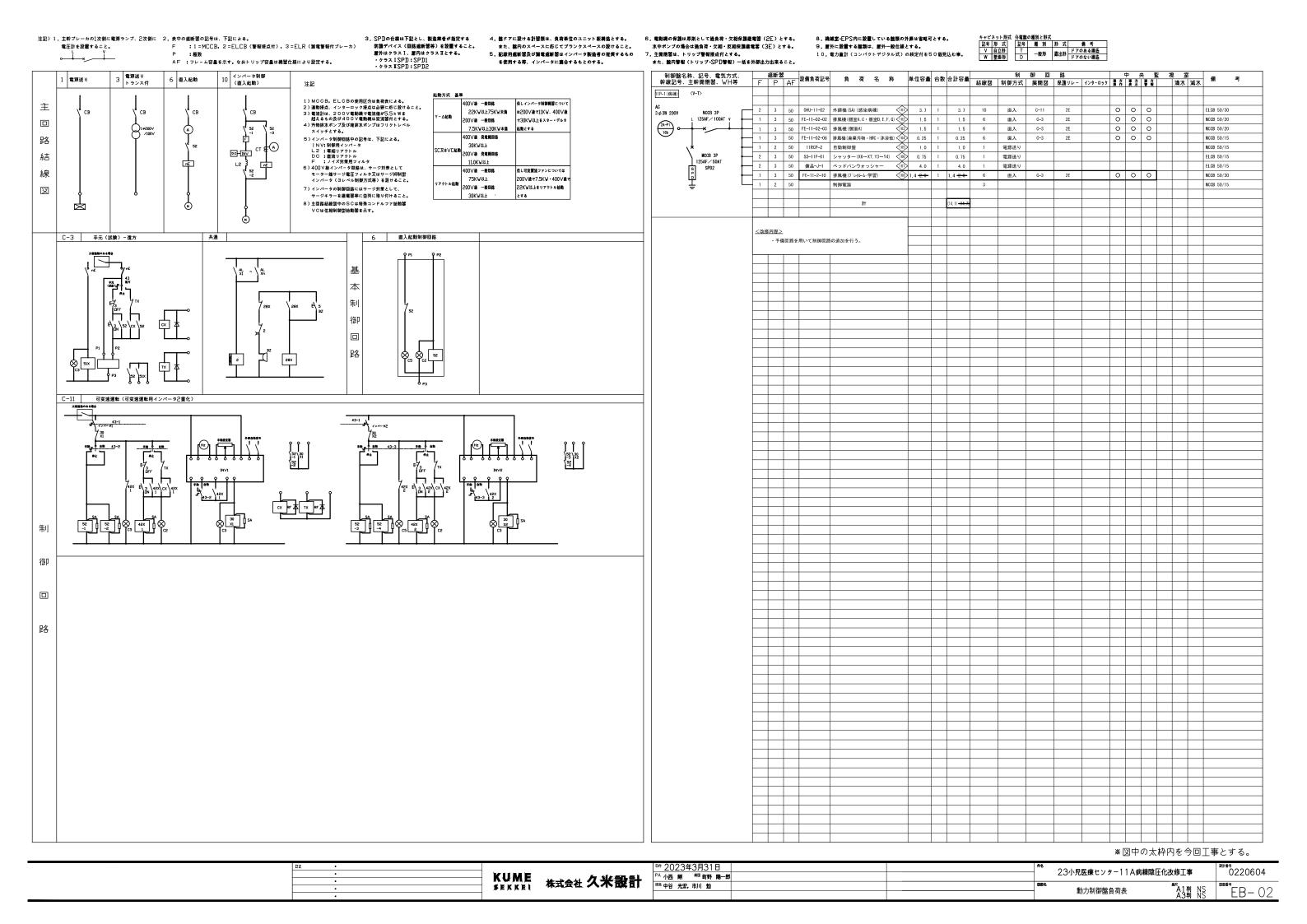
•	MIIME	#_ 41 1
•	<b>KUME</b> <b>≸EKKE</b> I	株式会社 久米設計
•	* E K K E I	1000年11月1日 1000年11月1日 1000年11月

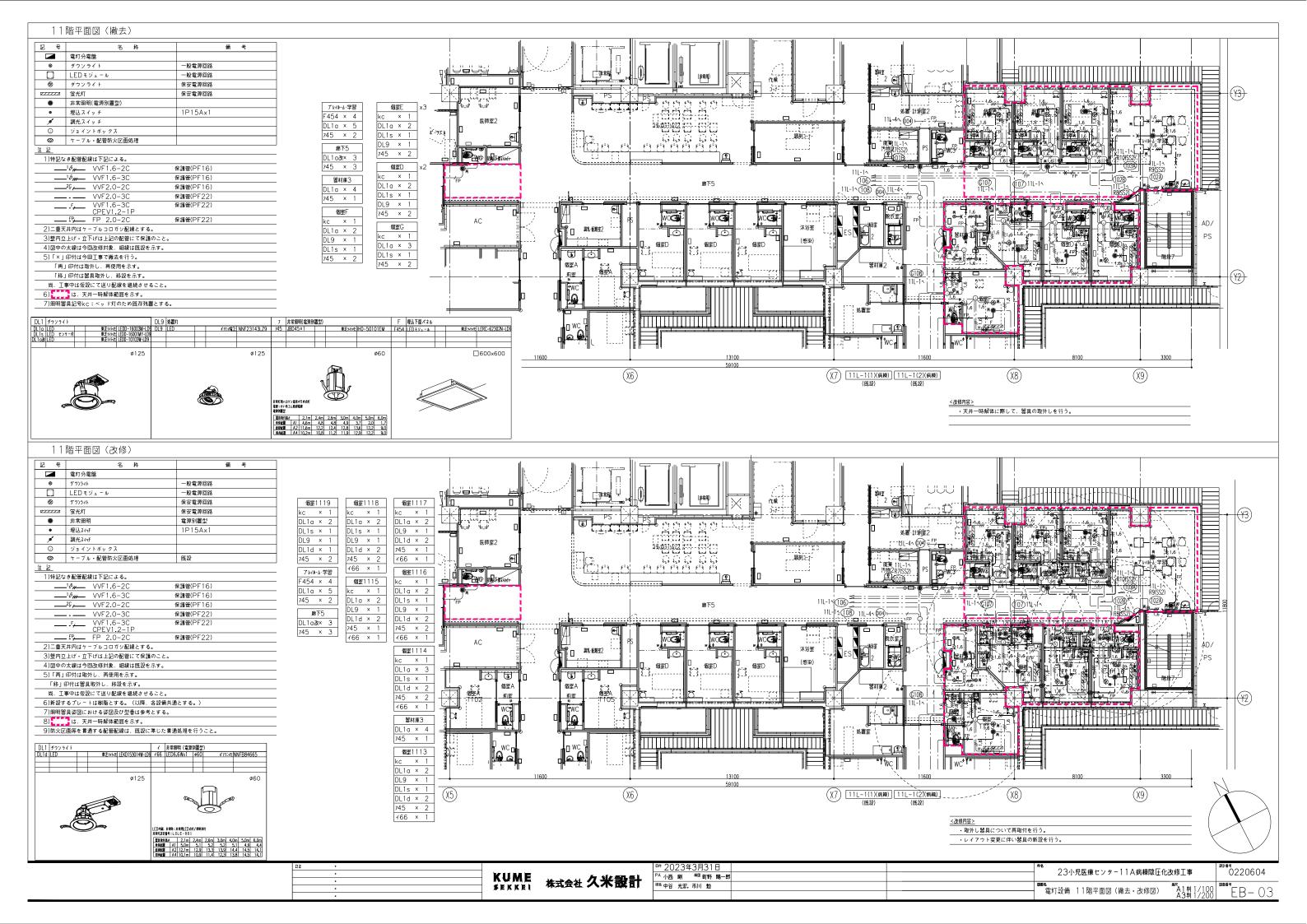
2023年3月31日		件名	23小児医療センター11A病棟陰圧(	小水松工事	0220604
A 小西川 叫 <sup>検図</sup> 町野 陽一郎			23小元医療モファー  A病標医圧1	0220004	
当 中谷光宏,市川发加		図面名	電気設備工事特記仕様書(2)	#R <b>A1判</b> NS	<b>阿藤号</b> へ へ へ
			电外政师工争付む山林苷 (乙)	Ä3¥ÍNŠ	EA-UZ



IIE •		<sup>■#</sup> 2023年3月31日	<b>幣</b> 00 1 円 下 中 1 1 1 4 亡 士 除 「	化改修工事 0220604
•	VIIME 4 deep = 1	PA 小西 剛 <sup>模図</sup> 町野 陽一郎	23小児医療センター11A病棟陰圧	16改修工事   0220604
•	■ <b>SEKKEI</b> 株式会社 久米酸計	<sup>担当</sup> 中谷 光宏, 市川 <b>勉</b>	用而久	線尺 関節拳長
•	REKKEL MACHINE A ALLA MANIEL	一一中谷 元本,巾川 20	防火区画貫通処理標準図(既設)	TA1判NS LT A へつ
•			例,人匹圖與起及程標中因 (成就)	A1NS EA-03



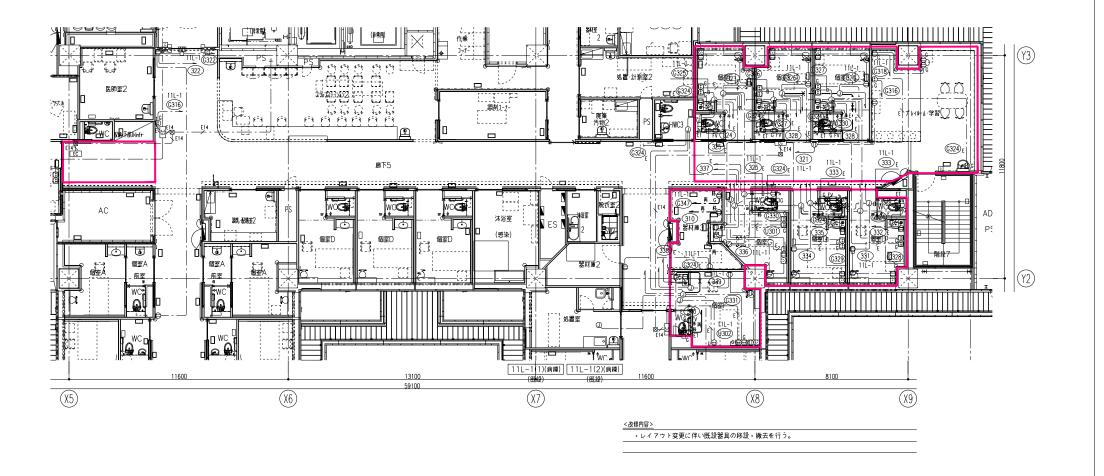




## 11階平面図(撤去)

記 号	名 称	備考
	電灯分電盤	
0	ケーブル・配管防火区画処理	
0	埋込コンセント2P15AE付×2	
ФЕТ	埋込コンセント2P15AE付×1+ET	
•	医用コンセント2P15AE付×2	
<u></u>	医用コンセント2P15AE付×2 ×2	
<b>●</b> ①	複合コンセント2P15AE付×2+ET	埋込スイッチと同一プレートに取付
<b>©</b> (1)	複合コンセント2P15AE付×2	弱電と同一プレートに取付
EC	接地センター	10端子
0	ジョイントボックス	
⊠	プルボックス	
	ジョイントボックス	フラッシュ バルブ用
□ <sub>FV</sub>	ジョイントボックス	チャームボックス用
・配線器具	の付記"E"は非常電源回路1を示す。	
・配線器具	の付記"G"は非常電源回路2を示す。	
・配線器具	の付記"U"はUPS回路を示す。	

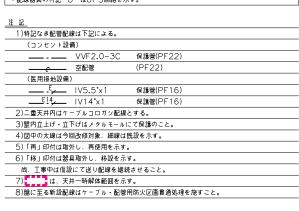
注記		
1)特記なき配管配	線は下記による。	
(コンセント設	備)	
	VVF2.0-3C	保護管(PF22)
e_	空配管	(PF22)
(医用接地設備	)	
	IV5.5°x1	保護管(PF16)
E14	IV14°x1	保護管(PF16)
2)二重天井内はヶ	- ブルコロガシ配線	とする。
3)壁内立上げ・立	下げは上記の配管に	て保護のこと。
4)図中の太線は今	回改修対象、細線は[	既設を示す。
5) 「×」印付は今	回工事で撤去を行う。	•
「×」印のつい	たケーブルは撤去、	壁内等隠蔽配管は間仕切り解体合わせて撤去(建築工事
躯体打込配管	は残置とする。	
「再」印付は耳	双外し、再使用を示す	
「移」印付は器	異取外し、移設を示	. す。
尚、丁事中は仮記	₿にて送り配線を継続	<sup>たさ</sup> せること。

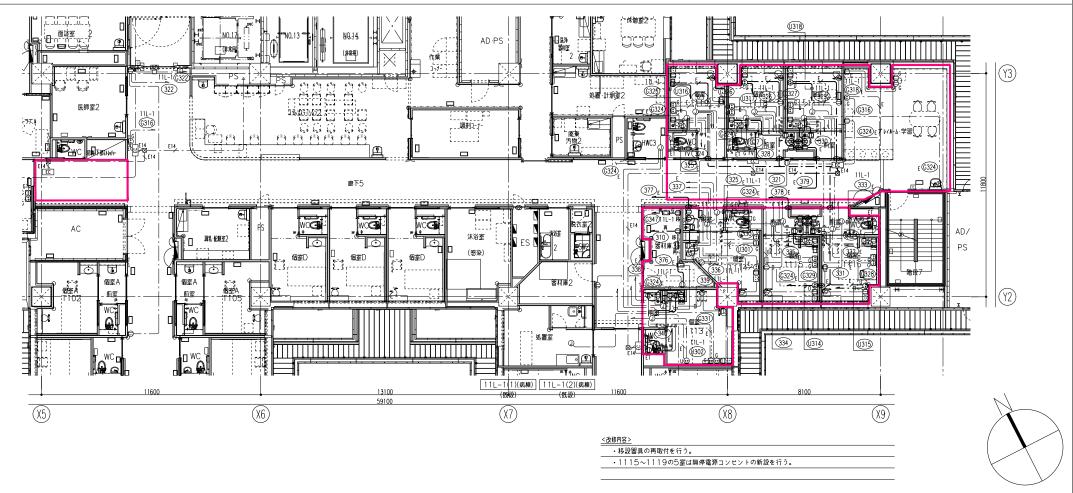


## 11階平面図(改修)

6) は、天井一時解体範囲を示す。

記号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
0	ケーブル・配管防火区画処理	
Φ	埋込コンセント2P15AE付×2	
ФЕТ	埋込コンセント2P15AE付×1+ET	
•	医用コンセント2P15AE付×2	
<u></u>	医用コンセント2P15AE付×2 ×2	
• <b>①</b>	複合コンセント2P15AE付×2+ET	埋込スイッチと同一プレートに取付
<b>©</b> 0	複合コンセント2P15AE付×2	弱電と同一プレートに取付
EC	接地センター	10端子
0	ジョイントボックス	
⊠	プルボックス	
	ジョイントボックス	フラッシュバルブ用
o <sub>FV</sub>	ジョイントボックス	チャームボックス用
・配線器具	!の付記" E"は非常電源回路1を示す。	
・配線器具	lの付記"G"は非常電源回路2を示す。	
・配線器具	Lの付記"U"はUPS回路を示す。	





注記)1. 主幹プレーカの1次側に電源ラン電圧計を設置すること。 ○	ノブ、2次側に	Ξ	1 P (1 2 P (2	E): MCC E): MCC	B2P2E 5	0 AF / 2 O A T 0 AF / 2 O A T 0 AF / 2 O A T	R:	中のリモコンおよびマグ リモコン モコン回路がある壁	M: マグネ	トット		5、電力量計 - WHM制	は、コンパクト	・デジタル式と	%のスペースを見込∜ する。	防護デバイス(回路		。 * 8.∦	E関閉器はトリップ警報接点付とた、膣内警報(トリップ・SPD) 技術室・EPS内に設置している監督がに設置している監督がに設置する監禁は、屋外一般	警報)一括を外部出力出来ること。 類の外罪は省略可とする。	V     自立形     T       W     壁樹形     D	- 形式	<ul><li>CPU 伝送ユニット</li><li>T/U リレー制御 T</li><li>RT リモコントラン</li></ul>	/ U (4回路用)	年間プログラムユニット(ソーラータイマー機能付)
分電盤名称、記号、電気方式、回路: 幹線記号 主於問題學 \//日對 悉号	分岐開	閉器リモコ	負荷	名 称	容量 VA	備考	分電盤名科	体、記号、電気: 主般問題架 \	方式、回路	分岐開	閉器リモコン	負荷田冷	名 称	容量 VA	備考	分電盤名称、記号、電管	え方式、回路 分 岐 !	見 閉 器リモ	自荷名称	容量 ∨ A 備 考	分電盤名称、記号、電気 幹線記号 主於問題哭 \	方式、回路 分 岐 開 閉	器リモコン 負荷	名 称 容量 ∨	A 備考
幹線記号、主幹期開業、VH等番号    111-1 (編集) V-D	O - O - O - O - O - O - O - O - O - O -	ELB X/4 M  Rx2  Rx2  Rx1  Rx1  Rx1  Rx1	9 用 途 照明 照明 照明 照明	25 M	108 70 280 350 350 350 243 367 486 242 120 220 70 50 500 600 1.000 600 1.000	廊下5 プレバル・学習室 プレバル・学習室 スタッフステーション2. 作業コーナー 廊下6 器材庫3. 他 個室1114-1115-1116 117-1118-1119	<b>ACI</b> φ3W 200/100V	主幹關閉器、\\	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	P 2P   P   P   P   P   P   P   P   P	明	用 途	3 M	46194) 46530 900 1,000 600 900 1,200 1,200 1,000 1	予備 SP×14	分電腦名林、記号、電等解開開發、1111-1(原業)	A   J   A   A   A   A   A   A   A   A	P ELB X	コンセント	容量	分電器名称、記号、電気 幹線記号、主幹開開閣。 1111-(共用) V-D  AC1 φ 3W MCCB 3P 200/100V 250/150A  MCCB 3P  SOAF/SOAT SPD1	H	Rx1 原明 原明 Rx1 原明 原明 Rx1 原明 原明 Rx1 原明 Rx1 原明 Rx1 原明 Rx1 原明 Rx1 原明 Rx1 2かとト コンセント	会職 V 33 16 66 67 22 33 11,86 96 11,56 11,22 11,00 11,00 11,00 66 11,22 66 11,22 66 11,00 11,	A 備 考
	0		20±03- 20		1,000   1,00	廃棄汚物2 旧WC3 かけンレット 器材庫2、脱衣室2 味浴室と脱衣室2 ・ 洗浴室と脱衣室2 ・ 子債 調乳・配膳室2 ・ 子債 調乳・配膳室2 ・ 電子のが 調乳・配膳室2 ・ 電子のが 調乳・配膳室2 ・ 電子のが のである。 このである。 のである。			381			3020 h		1,000 1,000 1,000 1,000 1,200 600 600 1,200 1,200 1,200 1,200 2,000 1,000	係室1120 ドライケー 処置室 流し台 処置室 (窓用)	用			コンセント	400 銀室1132 (医用) 400 銀室1131 (医用) 400 銀室1130 (医用) 400 銀室1130 (医用) 400 銀室1129 (医用) 400 銀室1128 (医用) 400 銀室1125 (医用) 400 銀室1124 (医用) 400 4床室1123 (医用) 400 4床室1123 (医用) 400 4床室1123 (医用) 400 4床室1123 (医用) 400 4床室1120 (医用) 400 4床室1120 (医用) 400 4床室1120 (医用) 500 4床空1120 (医用) 500 500 500 500 500 500 500 500 500 500	AC-GC1 ¢ 3W		フレント フンセント フンセント フンセント フンセント フンセント フンセント フンセント フンセント スンセント スンセント スンセント スンセント ス次を別明 非常照明 非常照明 非常照明 非常明明 には事が には、「「「「「「」」」 は、「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」	1.26 1.56 99 1.00 90 1.00 90 35 44 42 42 42 43 44 44 45 46 47 47 48 48 48 48 48 48 48 48 48 48 48 48 48	「
(39) (38) (38) (38) (38) (38) (38) (39) (39) (39) (39)			20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03 20±03		1,100 +-000- 1,100 +-000- 1,100 +-000- 104000- 1,2000001,2001,200	儒室1115 ドラヤー 観室1133 倒電室1134 ドラヤー 個室1132 付加	AC-GC1 d-3W 200 / 100V (29-1) 3	MCCB 3P			Rx2 Rx4 Rx4 Rx2 Rx2 Rx2 Rx2	保安照明		864 208 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56 56		AC-GCI φ 3W MCCB 3P 200/100V 50 / 40A		T.	### ##################################	200	2種耐數		コンセト コンセト コンセト コンセト コンセト コンセト コンセト コンセト	1, 00 15 1, 00 73 30 1, 00	0 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6
			1	1		ne •										B# 2023年3月31日						18 23小児医療セン	※ 図中の 9-11A病棟陰圧	太枠内を今回 太枠内を今回	上事とする。 □ 3220604
					-	•					– KU ≸ek	ME	株式会	社久	<b>米設計</b>	PA 小西剛 「中枢 明」 「中枢 明明 明一日本 中俗 光宏,市川 動	- 1815					電灯分電盤負荷		A1判 NS A3判 NS	EB- 05